

## 【目次】

1. 富士社会教育センター企画展「労働運動と教育運動」がスタート、12月14日！
2. 企画展「総同盟・産別会議から新産別・総評へ」が閉会、12月8日
3. 友愛労働歴史館は12月26日（土）から1月11日（月）まで休館します！
4. 友愛労働歴史館調査研究員会議（12月5日）を延期しました！
5. 新型コロナ禍の当館所蔵資料の閲覧、問い合わせについて！
6. 社会思想家・武藤光朗の蔵書は鎌倉女子大学図書館「武藤光朗文庫」で保管！

### 1. 富士社会教育センター企画展「労働運動と教育運動」がスタート、12月14日！



友愛会館8階の友愛労働歴史館展示室において12月14日（月）、富士社会教育センター企画展「労働運動と教育運動」（2020.12.14～2021.1.29）がオープンしました。企画展「労働運動と教育運動」は「第1部 前史・戦後労働者教育」、「第2部 生涯学習社会での教育運動」、「第3部 多様化する教育内容」の三部構成となっています。

今回の企画展は2019（令和元）年に創立50年を迎えた公益財団法人富士社会教育センターが企画・運営した特別展示会で、友愛労働歴史館は展示室を提供し協力を行っています。なお、友愛労働歴史館の開館日程に合わせ、企画展の会期は2月12日（金）まで延長されました。

富士社会教育センターは1969年、「歴史を創造する新しい政治理念と逞しい行動力が必要」とする民社党第二代委員長・西村栄一によって創立され、1971年に日本労働者教育協会（1951年創立）と合併しました。以来、河合栄治郎や森戸辰男らの教えを受け継ぎ、民主的労働運動の労働者教育、また生涯学習時代の社会人教育を担ってきました。

企画展では写真や解説パネル、各種出版物・パンフレットなどにより富士社会教育センターの歴史と活動について紹介しています。また、「三訓五戒」関連グッズの販売も行っています。

### 2. 企画展「総同盟・産別会議から新産別・総評へ」が閉会、12月8日！



7月6日（月）から開催していた企画展「総同盟・産別会議から新産別・総評へ—1946～1950年の労働運動—」（2020.7.6～12.8）は、12月8日（火）に閉会しました。

本企画展は1950（昭和25）年の総同盟解散・総評結成70年を記念して開催したもので、友愛会・総同盟の民主的労働運動の流れが1950（昭和25）年7月に総評結成へと進んだ経緯を紹介・解説しました。

### 3. 友愛労働歴史館は12月26日（土）から1月11日（月）まで休館します！

友愛労働歴史館は12月25日（金）まで開館しますが、その後は新型コロナウイルス対応のため26日（土）から1月11日（月）の間、年末年始休館となります。開館は1月12日（火）10：00から。開催中の富士社会教育センター企画展「労働運動と教育運動」（2020.12.14～2021.1.29）の会期は、新型コロナウイルスへの対応により2月12日（金）まで延長となりました。

#### 4. 友愛労働歴史館調査研究員会議（12月5日）を延期しました！

友愛労働歴史館は2012年の新装オープン以来、「ユニテリアンと社会運動研究会」や「政治・社会運動史研究会」を設置し、調査・研究活動に取り組んできました。そして今、時代と環境に即した新たな調査研究員制度を発足させ、資料の収集・管理、調査・研究の活動に取り組むこととしました。そのための第1回友愛労働歴史館調査研究員会議を12月5日（土）に予定しましたが、新型コロナウイルス対応のため開催を延期。今後の日程は現在、検討中です。

#### 5. 新型コロナ禍の当館所蔵資料の閲覧、問い合わせについて！

友愛労働歴史館は友愛会（後の総同盟・同盟、総評。現在の連合）系労働組合の歴史資料館で、①友愛会（大正元年創立）から同盟までの民主的労働運動、②社会民衆党（大正15年結党）から戦後の日本社会党・民社党までの民主的社会主義運動、③ユニテリアン教会・惟一館（明治27年建設）ゆかりの社会運動、に関する資料の収集・管理、調査・研究を行っています。

特に旧同盟（1987年まで存在した中央労働団体）と旧民社党（1994年まで存在した民主社会主義政党）の資料・書籍が充実しています。これは両団体が解散した後、その継承団体（同盟⇒友愛会議、民社党⇒民社協会）から当館に全ての資料が寄贈されたためです。



現在、新型コロナ禍で大変な時期ですが、当館所蔵資料に関心のある方は、どなたでも自由に閲覧することができます。資料閲覧者は当館書庫の閲覧コーナーで原則、平日10:00～17:00の間、閲覧することができます。また、Eメールでの問い合わせにも対応しています。

なお、毀損防止のため資料・書籍の館外貸し出しやコピーサービスには対応していません。但し、希望者は資料・書籍を毀損しない方法、例えばスマホ・デジカメによる撮影を行うことができます。当館担当者にご相談ください。友愛労働歴史館への連絡は下記Eメールで。

#### 6. 社会思想家・武藤光朗の蔵書は鎌倉女子大学図書館「武藤光朗文庫」で保管！

友愛労働歴史館書庫には社会思想家・武藤光朗（1914～1998）の著書が数多く、保管されています。例えば『社会主義と実存主義』、『例外者の社会思想』、『現代日本の挫折と超越』など。



武藤光朗はヤスパースの研究者で、中央大学や早稲田大学などで教鞭をとった学者・社会思想家。民主社会主義研究会議（現政策研究フォーラム）議長やインドシナ難民連帯委員会 CSIR（現アジア連帯委員会 CSA）会長などを務めています。

武藤光朗はしばしばジョン・レノンの「レボリューション（革命）」を取り上げ、自由放任の資本主義経済がもたらす非人間性を批判し、格差・貧困・不平等・隷属への反抗を呼び掛けました。1998年に死去し、その蔵書約900冊は鎌倉女子大学図書館に保管されています。

**「人間の尊厳、進歩と発達のために」**

発行：友愛労働歴史館

責任者：徳田 孝蔵

担当者：間宮悠紀雄

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

Tel.050-3473-5325

Eメール [yuairodorekishikan@rodokaikan.org](mailto:yuairodorekishikan@rodokaikan.org) HP <http://www.yuairodorekishikan.com>

**惟一館から126年、友愛会から108年**